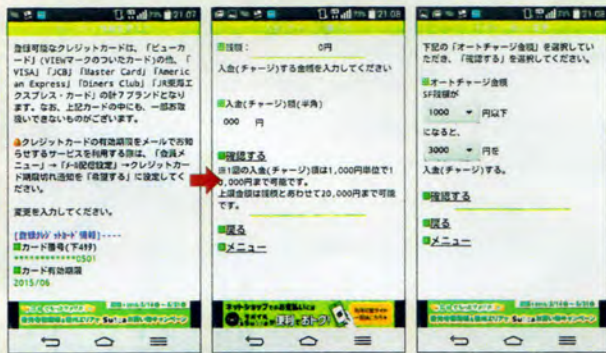


1.5%還元で、新幹線も割安になる1枚

技
033
初級★

Suica ビックSuica+モバイルSuicaで 東日本以外でも1.5%還元を得る

全国で相互利用できる交通系ICカードで、チャージで1.5%という高い還元率が得られるのが、ビューカードとSuicaの組み合わせだ。なかでも「ビックカメラSuicaカード」は年1回の利用で年会費が無料となる点で優れている。Suicaはおサイフケータイに対応しており、全国どこでもチャージが可能。Suicaエリア外に住む人にも薦められる。



①モバイルSuicaにカード番号を登録 ②残高が減ったらその都度チャージする ③Suicaエリア PASMOエリアならオートチャージも利用可能

ポイントチャージ
クレジットチャージ

ビックカメラSuicaカード (ビューカード)
年会費 **実質無料**
(初年度無料。年1回の利用で次年度も無料)
ポイント還元率 **1%**

交通系電子マネー最強

技
035
初級★

PiTaPa 大阪市営地下鉄に 年1回乗るだけで得をする

関西地方を中心に、地下鉄 私鉄 バスで使えるPiTaPa。後払い式で、三井住友カード、ANAカードなどの会員なら追加発行が可能だ。利用時にクレジットカードのポイントは付与されないものの、大阪市営地下鉄では運賃が自動的に10%引きとなるので、使わないと損。年に1度も利用しないと維持管理料1000円(税別)が発生するが、現金でチャージし、交通系ICカードとして全国の鉄道やバスで使えば回避できる。

大阪市営交通の PiTaPa割引率をアップ!!

PiTaPaで大阪市営地下鉄・有明線・PiTaPaエリア
1回目の乗車から

- 二乗車(乗車)シニアは **10%割引**
- 学生(乗車)シニアは **20%割引**

PiTaPa
年1回の利用で維持管理料は不要に(チャージのみは不可)。電子マネー機能は相互利用の対象外

技
034
中級★★

Suica 複数のSuicaにチャージして 家族の利用も1.5%還元にする

Suica一体型のビューカードでも、実は別のSuicaにクレジットチャージが可能。ビューカードのマークがある多機能券売機かATM「ビューアルッテ」に、チャージしたいSuicaを入れ、続けてビューカードを挿入する。この方法を使えば、家族のSuicaでも1.5%分のポイントが得られる。またオートチャージは、同一名義なら下図のように3枚(3種類)まで同時に設定できる。



関西地方を中心に、地下鉄 私鉄 バスで使えるPiTaPa。後払い式で、三井住友カード、ANAカードなどの会員なら追加発行が可能だ。利用時にクレジットカードのポイントは付与されないものの、大阪市営地下鉄では運賃が自動的に10%引きとなるので、使わないと損。年に1度も利用しないと維持管理料1000円(税別)が発生するが、現金でチャージし、交通系ICカードとして全国の鉄道やバスで使えば回避できる。

また、同社発行のカードは、一般的な「ビュー スイカカード」でも年会費

鉄道やバスの利用だけでなく、コンビニでの支払いなど、日々の生活での利用シーンが多い交通系ICカード。しかし、高還元カードとの相性は良いとはいえない。

高還元カードを含む幅広いカードがチャージに使えるのは、JR西日本の「SMART IC COCA」とJR東日本の「モバイルSuica」。前者は年会費がかからないが、チャージできるのはJR西日本のICOCAエリア内の券売機やチャージ機だけで、関西中国エリアの人しか使えない。後者はおサイフケータイなので、エリアに関係なくチャージができて便利。ただ、年会費1030円(税込)がかかる。

ところが、この年会費がかからず、チャージでの還元率も1.5%になるカードがある。ビューカード発行のカードだ。しかも、たまったポイントも、ネットで手続きをしてSuicaに交換し、モバイルSuicaで受け取れる。モバイルSuicaの年会費が無料になるのは、券面に「VIEW」のマークが記載されているカードを決済用に登録した場合。ビューカードと提携した別のカード会社が発行するSuica一体型カードも含まれる。ただし、チャージで1.5%分のポイントが還元されるのは、あくまでもビューカードが発行するカードだけだ。

注) 情報はすべて3月中旬時点のもの(編集部調べ)。「ビックカメラSuicaカード」は、一般加盟店ではビューカードとビックカメラのポイントがそれぞれ0.5%ずつつまり、JR東日本での切符の購入やSuicaチャージではビューカードのポイントが1.5%たまる

101 WAYS TO GET THE MOST



Suica PASMO

複数の会社にまたがる定期券なら 他社カードが使える鉄道会社で買う

定期券購入に自社カード以外が使える首都圏の鉄道会社は、JR東日本、東京メトロ、都営地下鉄、西武鉄道、東急電鉄、小田急電鉄の6社。利用経路にこれらの路線が含まれていれば、その会社で連絡定期券を買えば、高還元カードで支払うと得た。自社カードで買うと還元率が優遇されるケースもあるので、どちらが得か見極めたい。

■東急は毎年の初回購入時にのみ3%還元になる

他社カードが使える	自社カードの優遇あり	JR東日本「ビューカード」(1.5%)、東京メトロ「To Me CARD」(1%)、西武鉄道「SEIBU PRINCE CLUBカード セゾン」(1.5%)、東急電鉄「TOP&ClubQ JMBカード PASMO」(3%)
	優遇なし	小田急電鉄「OPクレジット」(0.5%)、都営地下鉄(自社カードなし)
自社カードしか使えない	還元率1%以上	東武鉄道「東京スカイツリー東武カードPASMO」(1.5%)、京王電鉄「京王パスポートVISAカード」(1%)
	還元率1%以下	京成電鉄「京成カード」、京浜急行電鉄「京急プレミアムポイントシルバー」、相模鉄道「相鉄カード」(いずれも0.5%) など



PASMO

PASMO利用でポイントが 2倍たまるカードを持つ

PASMOにチャージできるクレジットカードは、首都圏の鉄道各社の提携カードに限定されており、ポイント還元率は軒並み0.5%と低い。そのなかで唯一1%還元となるのが「TOP&ClubQ JMBカード PASMO」。利用明細を郵送からウェブに切り替えると還元率が1%になる。



TOP&ClubQ JMBカード PASMO (東急カード)
年会費 1000円(税別) 初年度無料
ポイント還元率 1%

④ たまったポイントは、東急電鉄の主要駅のポイントチャージ機でPASMOにチャージできる。



PASMO

複数の鉄道会社のポイントを 1枚のPASMOでためる

鉄道各社のカードを組み合わせることで、複数の乗車ポイントが1枚のPASMOでためられる。都営地下鉄、東急電鉄、京王電鉄は、ポイントカードに入会し、PASMOの番号とひも付けるだけ。東京メトロは、提携カードへの入会が必要だが、オートチャージの登録は必須ではない。

6社のポイントが
1枚でたまる



都営地下鉄
「ToKoPo」

「ToKoPo」を持ち、登録したPASMOを利用
乗車 乗車1回につき1ポイント(1円相当)。土・日曜・祝日の利用や地下鉄と都営バスなどの乗り継ぎで1日2ポイント加算

西武鉄道
「SEIBUスマイルリンク」

「SEIBU PRINCE CLUBカード」(ポイントカード含む)を持ち、登録したPASMOを利用
物販 駅構内のコンビニ、自動販売機、駐輪場などでの支払いで約1%

京王電鉄
「乗りものポイント」

「京王パスポートカード」(ポイントカード含む)を持ち、登録したPASMOを利用
乗車 京王の電車 バスを同じ日に利用すると10ポイント(10円相当)
物販:京王の電子マネー加盟店(駅構内の店舗、自動販売機など)での支払いで0.5%

東京メトロ「メトロポイントPlus」

To Me CARDに入会し、登録したPASMOを利用
乗車 乗車1回で2~40ポイント(2~40円相当。曜日や入会したカードの種類によって異なる)
物販 メトロポイントPlus加盟店(駅構内の売店、自動販売機など)での支払いで0.5~2%

小田急電鉄「小田急乗車ポイント/小田急電子マネーご利用ポイント」

OPクレジットに入会し、オートチャージに登録したPASMOを利用
乗車 月間の乗車運賃の総額に応じて最大7%(月1360円未満の場合はポイント還元なし)
物販 駅構内の売店、自動販売機、駐輪場などでの支払いで1%

が47円(税別)がかかるなど、ほぼすべてが有料カードとなっている。そのなかで唯一、年1回利用すれば次年度の年会費が無料となるのが「ビックカメラSuicaカード」だ。Suicaチャージ以外でも1%還元なので、メインカードとしても活躍できる。

このビューカード1枚で、実はSuicaを何枚でもチャージできることはあまり知られていない。JR東日本の駅にある多機能券売機かATM「ビューアルツテ」を使うのだ。複数枚にチャージして、家族全員で持つといった使い方ができる。さらにオートチャージも、ビューカードのSuicaとは別に、記名式SuicaカードとモバイルSuicaにも同時に設定可能。いずれも同名義でなければならぬが、業務用と私用のSuica、両方にオートチャージできる。

方、私鉄系のPASMOは、クレジットカードでのチャージがオートチャージに限られ、ひも付けできるのは1枚だけ。しかも私鉄各社の提携カードしか使えない。そのなかで還元率が比較的高いのが、「TOP&ClubQ JMBカード PASMO」(東急カード)。ウェブ明細へ登録すれば、1%還元になる。

還元率や使い勝手ではSuicaに及ばないが、東京メトロや都営地下鉄などには、事前に登録したPASMOを使って乗車するとポイントが付与されるサービスがある。これらの路線を頻繁に利用する人は、忘れずのためにおきたい(各社とも定期券区間の利用は対象外)。



新幹線・特急

1枚のカードだけを使い JR5社の特急に割引料金で乗る

JRのネット予約サービスは各社が別々に運営。ネット限定の割引切符には、自社カードでの購入を条件にしているものも少なくない。1枚のカードで買える割引切符の種類が最も多いのがJR西日本の「J-WESTカード『エクスプレス』」。新幹線はすべて網羅し、在来線もJR東日本 西日本・四国・九州と幅広く対応する。

**本州・四国・九州
すべてが割引になる**



J-WESTカード「エクスプレス」
(JR西日本)

年会費 1080円(税込み)

ポイント還元率 0.5%

■「穴」がないJ-WESTカード「エクスプレス」

路線・エリア	ネット予約専用割引切符 (予約サービス名)	ビューカード 年会費 実質無料	JR東海 エクスプレス カード 年会費 1000円(税別)	J-WEST カード エクスプレス 年会費 1080円(税込み)	J-WEST カード 「ベーシック」 年会費 実質無料	JQ CARD 年会費 実質無料	
新幹線	東海道・山陽 EX-ICサービス/IC早特/e特急券 (エクスプレス予約)	△	○	○	×	×	
	山陽・九州	スーパー早特きっぷ (e5489/JR九州予約サービス)	○	○	○	○	○
		eきっぷ/e早特 (e5489/JR九州予約サービス)	×	×	○	○	○
	九州	九州ネットきっぷ/九州ネット早特 (JR九州予約サービス)	○	○	○	○	○
	東北・上越・ 秋田・山形	モバトク/スーパーモバトク (モバイルSuica)	○	△	△	△	△
		えきねっとトクだ値(えきねっと)	○	○	○	○	○
	北陸	モバトク/スーパーモバトク (モバイルSuica)	○	△	△	△	△
		えきねっとトクだ値(えきねっと)	○	○	○	○	○
		eきっぷ/e早特1(e5489)	×	×	○	○	×
		WEB早特1(e5489)	○	○	○	○	○
在来線特急	JR東日本	えきねっとトクだ値(えきねっと)	○	○	○	○	
	JR西日本	eきっぷ/e早特 (e5489/JR九州予約サービス)	×	×	○	○	
		WEB早特1(e5489)	○	○	○	○	
	JR四国	eきっぷ(e5489)	×	×	○	×	
	JR九州	eきっぷ(e5489/JR九州予約サービス)	×	×	○	○	
	九州ネットきっぷ/九州ネット早特 (JR九州予約サービス)	○	○	○	○		



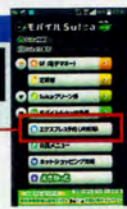
新幹線・特急

モバイルSuicaの「特約」で 東海道・山陽新幹線を安く使う

JR東日本のビューカードでも「ビュー エクスプレス特約」(年会費1000円 税別)に申し込み、東海道 山陽新幹線のエクスプレス予約が利用可能。切符の割引額で、年会費の元は容易に取れる。

エクスプレス予約(JR東海)

モバイルSuicaから申し込む。ビューカードで決済をしていることが条件。特約の年会費は「JR東海エクスプレス カード」と同額だ



ビックカメラ Suicaカード (ビューカード)

年会費 実質無料
(初年度無料。年1回の利用で次年度も無料)
ポイント還元率 1%



JR東日本のビューカードでも「ビュー エクスプレス特約」(年会費1000円 税別)に申し込み、東海道 山陽新幹線のエクスプレス予約が利用可能。切符の割引額で、年会費の元は容易に取れる。

ちなみに、東京メトロの乗車ポイントは、同社の提携カード「To Me CARD」の付帯サービス。ただし、そのカードでのオートチャージは必須ではない。TOP&ClubQカードでオートチャージしているPASMOを登録することも可能だ。

全部の新幹線が割引になる1枚

新幹線と在来線の特急の 部には、インターネット予約限定で割安な切符がある。ただ、ネット予約サービスはJR各社がばらばらに運営しており、使えるカードに制限もあって複雑だ。どのカードでどの割引切符が買えるか 覧にしたのが上の表。購入できるものは「○」、購入できないものは「×」、別途で年会費などを支払えば購入できる場合は「△」で示している。

つも「穴」がなかったのが、「J-WESTカード『エクスプレス』」(JR西日本)。東海道 山陽新幹線の「エクスプレス予約」だけでなく、JR西日本の「e5489」の割引切符も買えることが大きい。e5489で予約可能な路線は、山陽 九州新幹線からJR西日本 四国 九州の在来線特急まで幅広く、3月からは北陸新幹線も加わった。JR東日本が運行する東北・上越 山形 秋田新幹線や在来線特急は、同社の「えきねっと」を使えば、どのカードでも割引切符が購入可能。つまり、J-WESTカードなら、すべての新幹線が割引料金で乗れるのだ。在来線特急も、もともとネット専用の割引きっぷがないJR北海道とJR東海を除けば、全国をカバーしている。

注) 記載の割引切符はすべて列車・席数限定。表中の「JR九州予約サービス」の正式名称は「JR九州インターネット列車予約サービス」。J-WESTカード「ベーシック」は年会費実質無料(初年度無料。年1回の利用で次年度も無料)。JQ CARDは複数の提携カードがあるが、大半が年会費実質無料(初年度無料。年1回の利用で次年度も無料)

101 WAYS TO GET THE MOST



新幹線・特急

ネット予約&券売機利用で 1回の乗車につき75円相当を稼ぐ



通常の切符を買う場合も、JRのネット予約が得。JR北海道とJR九州は、切符の金額に応じてポイントがたまる。両社とも、自社線内完結の利用は1%還元、JR他社にまたがる利用は0.5%還元。JR北海道は、窓口ではなく指定席券売機で受け取ると、さらに10円相当のポイントが加算される。一方、金額にかかわらず一定額が付与されるのがJR東日本の「えきねっと」。自社エリアを運転する列車であれば、他社にまたがっていても50円相当、完全に他社だけの列車の場合は25円相当のポイントが付与される。指定席券売機で受け取るとさらに25円相当を獲得できる。3社とも、ポイントは旅行券への交換や、電子マネーのチャージなどに利用できる。

■自社線の利用や指定席券売機での受け取りなら還元額アップ

サービス名	ポイントの付与方法	ポイントの利用方法
JR北海道予約サービス「トレボ」	JR北海道線のみ利用: 100円→1p JR他社にまたがる利用: 200円→1p 指定席券売機で受け取ると10p加算	1000p→1000円分の旅行券またはKitacaチャージ
えきねっと「えきねっとポイント」	JR東日本エリアを運転する列車: 20p JR他社エリアのみ利用: 10p 指定席券売機で受け取ると10p加算	800p→2000円分のSuicaチャージ、1p→2.5pでSuicaポイント、1p→1pでビューカードのポイントに移行など(いずれも等価)
エクスプレス予約「グリーンプログラム」	乗車キロ数に応じて10~150p (東京-新大阪間の場合90p)	1000pで「のぞみ」のグリーン席に無料アップグレードなど
JR九州インターネット列車予約サービス「eレールポイント」	JR九州エリア内完結の利用: 100円→1p 東海道・山陽新幹線などJR他社を含む利用: 200円→1p	1000p→1000円分の旅行券、JQ CARDのポイントに移行など



新幹線・特急

旅行会社で切符を購入して 3%のポイント還元を得る

航空券購入時に還元率が3%になる「アメリカン エクスプレス スカイトラベラー カード」(詳細は128ページ 技55を参照)。実は、下記の旅行会社での購入では、JRの切符も3%還元になる。



ポイント3%還元の対象店舗
東武トップツアーズの旧トップツアー運営店舗、日本旅行(ウェブサイトおよび全店舗)

アメリカン・エクスプレス・スカイトラベラー・カード
(アメリカン・エクスプレス)
年会費 1万円(税別)
ポイント還元率 1%



新幹線・特急

50歳以上向けの会員組織に入って 最大60%引きを得る



50歳を超えたら入会したいのがJRの会員組織。JR東日本の「大人の休日倶楽部ミドル」は、クレジットカード(年会費2575円 税別)への入会が必須だが、JR東日本 北海道線の切符が5%引きになる。JR西日本の「おとなび」はクレジットカードへの入会は不要で、年会費無料。山陽新幹線などが7日前までのネット予約で40~60%引きになる。

大人の休日倶楽部ミドルカード (ビューカード)

年会費 2575円(税込み)
ポイント還元率 0.5%

クレジットカードなしで
最大6割引きに

■ウェブでの登録だけで大幅割引になる「おとなび」

大人の休日倶楽部ミドル	おとなび
男性満50歳以上64歳、女性満50歳以上59歳までで、大人の休日倶楽部ミドルカードへ入会	満50歳以上でJ-WESTネット会員に登録(年会費無料。J-WESTカード以外でも利用可能)
JR東日本・北海道線の片道・往復・連続201km以上の利用で5%引き。「大人の休日倶楽部バス(東日本)」が、1万5000円でJR東日本エリアを4日間乗り放題。「北陸フリーきっぷ」が2万2000円(東京都区内発)など(いずれも期間限定)	「おとなびWEB早特」で JR西日本エリアの新幹線 特急が7日前までのネット予約で40%引き(「こだま」は60%引き。列車・席数限定。6月30日まで)。「首都圏往復フリーきっぷ」が2万2000円(金沢発)など(期間限定)



とはいえ首都圏在住の場合、ビッック Suicaでも十分ではある。実は、ビューカードでも東海道 山陽新幹線が安く利用できる方法があるからだ。「ビュー エクスプレス特約」を申し込むと、モバイルSuica経由でエクスプレス予約が使える。この特約は年会費1000円(税別)で、先に紹介した「J-WESTカード」「エクスプレス」と同額。2枚持ちこたえる必要はなく、Suicaチャージも含めてポイントが1カ所にたまるのも便利だ。

ネット予約のメリットは、割引切符が買えるだけにとどまらない。購入金額などに応じて、ポイントが付与されるサービスもある。

えきねっとの場合、JR東日本エリアを運転する列車なら「えきねっとポイント」が20ポイント(50円相当)、東海道新幹線などJR他社のみ利用の列車でも同10ポイント(25円相当)が付与される。指定席券売機で受け取ると、さらに10ポイント(25円相当)が付く。つまり最大で30ポイント(75円相当)も獲得できるのだ。

このえきねっとポイントは400ポイントで商品券への交換、800ポイントでSuicaへのチャージが可能。決済カードとしてビューカードを登録して使えば、1ポイント単位でビューカードのポイントに等価で移行できるので、失効する心配は少ない。

エクスプレス予約の「グリーンプログラム」は、東京-新大阪間を1年以内6往復すると、「のぞみ」の片道分がグリーン席にアップグレードできる。出張族には魅力だろう。